

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

たたかい続けよう

改憲阻止の活動ニュース、1000号に！

20年前の2005年1月、兵庫憲法共同センターが設立され、週刊ニュース1号を発刊しました。

ちょうど20年が経過しましたが、全国と連帯し明文改憲を阻止続けています。

2000年に国会に「憲法調査会」が設置され、2003年の総選挙で自民・民主・公明が時期を明記して改憲をうったえました。そして自民党がはじめて「新憲法草案」を発表、2006年第一次安倍政権による「任期中の改憲」の動きとなりました。

こうした情勢のもと、2004年に「9条の会」の結成が呼びかけられ、“憲法を守り、活かす”の運動は一気に広がり、安倍政権はわずか1年で退陣しました。

兵庫県でも、気運が盛り上がり、この1号ニュースのように、全県行動がはじまりました。

九条守れ
FAXニュース
No.1号
2005年
1月20日

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター

650-0012 神戸市中央区北長狭通 5-2-10・兵高教組会館 4F

電話：078-366-6855 FAX：078-366-6856

EメールアドレスとHPアドレスは（工事中）です。近日中に公開。

憲法を守ろうの一点で手をつなぎましょう！

憲法の改悪を許さないため、共同して県民過半数の「憲法改悪反対署名」を集めようと、2005年1月19日、共同センターを結成しました。構成は、兵庫労連、兵商連、民医連、新婦人、農民連、民青、日本共産党、革新懇、兵庫憲法会議などの団体による連絡会です。

結成総会

申し合わせと当面の活動を決める

この日朝のニュースは日本経団連が「憲法改正」に乗り出すことが報じられ、緊迫した“憲法情勢”のもとで開かれました。

結成総会は、兵庫憲法会議の津川代表幹事の司会で進められ、兵庫労連山口事務局長から、共同センターの「申し合わせ」案が提案されました。略称・憲法共同センターによる運動の“目的と活動”については、県民過半数世論の結集めざす広範な共同を広げる努力が強調されました。そのため、県下各地、各分野での草根活動の交流と拡がり、多くの団体との共同を広げる方向が示されました。

また、共同センターを運営し発展させるための体制や財政も提案されました。

これを受け、構成団体から参加した代表から、昨年来からの様々な創意にあふれた取り組みが報告されました。

兵庫労連：闘争本部を立ち上げ、9月までに組合員ひとり5筆めざし2/26には大規模な学習集会を開催し、さらに医労連+自治労+全港湾+神戸新聞労組による連絡会の立ち上げなど多様な共同追求も知らされました。

新婦人：若いお母さんたちにもよく解ってもらえる

よう、ポスターやパンフ、9条ザウルスも活用し対話を精力的に進めている。だが東播では、「中学生～17才までの子に、月15万円支給し、高卒資格を与えるという自衛隊への勧誘」が連合町内会を通じて行われるなど、軍事体制づくりが広がっていることも報告されました。

兵商連：昨年の5月頃から本格的取り組みを開始、いま2万筆を越えているが、被爆60周年やニューヨーク集会参加も含めて、雰囲気盛り上げるため、「憲法瓦せんべい」普及などユニークな活動も紹介。

さらに、年金者組合、労連参加・単産のユニークな活動、また、革新懇からは連名ポスターのすごい取り組みでポスターがひっぱりだこのこと。また、地域や職場革新懇から学習依頼が殺到していることが語られました。

共産党県委員会から、革新懇のパンフ、不破さんの講演、綱領改訂の中の憲法擁護部分の学習運動の広がりが紹介されました。

憲法会議からは、学者・研究者、弁護士、また全県の教員による“憲法学習講師集団”の一次発表も行われました。また、関西共同印刷が取り組んでいるユニークな“憲法グッズ”の普及も強調されました。

共同センター事務局長に選出された兵庫労連山口事務局長から、当面の活動提起が行われ、アピールを採択して結成総会を終えました。

17団体・50人で”結成お披露目”大宣伝

この日、昼休み時間にJR元町駅東口で、憲法共同センター結成！！『宇宙の宝もの＝地球、その地球の宝＝憲法9条』のチラシ約500枚を配布しつつ、署名と宣伝活動を行いました。わずかな時間でしたが、署名は59筆となり、17もの団体から、50人を越える人たちがはせ参じ、乗降客や通行人と対話することができました。

【お願い】：全県各地域や多くの諸団体の、さまざまな憲法を守る運動をお知らせ下さい。

引き続き、県下各地・各団体のさまざまな活動情報をお寄せください。

戦争準備やめよ
憲法九条による平和外交を